

## 香川県の雇用情勢（令和5年12月分）

- 12月の有効求人倍率（季調値） **1.39倍**（前月差 0.00ポイント）
- 正社員の有効求人倍率（原数値） **1.27倍**（前年同月差 ▲0.06ポイント）
- 雇用情勢判断 「求人が求職を上回って推移しているものの、このところ持ち直しの動きに弱さがみられる。物価上昇等が雇用に与える影響に留意する必要がある。」
- 令和5年平均の有効求人倍率（原数値） **1.45倍**（前年差 ▲0.06ポイント）

### 1 求人倍率

- 有効求人倍率(季調値)は、前月と同水準。149か月連続で1倍台(全国第13位、全国1.27倍)
- 正社員の有効求人倍率(原数値)は、前年同月より0.06ポイント低下(全国第11位、全国1.08倍)

年 月	R5年7月	8月	9月	10月	11月	12月
有効求人倍率	1.46	1.46	1.44	1.40	1.39	1.39
正社員有効求人倍率	1.17	1.17	1.19	1.18	1.21	1.27

(注) 1. 有効求人倍率(季調値)の季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。  
2. 令和4年12月以前の季節調整値は、新季節指数により改定されている。

### 2 雇用情勢判断

- 判断を据え置き

変更した月	変更した内容	判断方向
令和5年10月	求人が求職を上回って推移しているものの、このところ持ち直しの動きに弱さがみられる。物価上昇等が雇用に与える影響に留意する必要がある。	下方修正
令和4年9月	持ち直している	据え置き
令和4年6月	新型コロナウイルス感染症の影響を注視する必要があるものの、持ち直している	据え置き
令和4年1月	新型コロナウイルス感染症の影響は一部に残るものの、持ち直している	上方修正

### 3 新規求人

- 新規求人(原数値)は、7,292人(前年同月比 8.8%減) 7か月連続で減少  
増加した主な産業は、医療、福祉、建設業、運輸業、郵便業、金融業、保険業、生活関連サービス、娯楽業等  
減少した主な産業は、公務・その他、サービス業(他に分類されないもの)、製造業、卸売業、小売業等

年 月	R5年7月	8月	9月	10月	11月	12月
前年同月比(%)	▲1.0	▲3.0	▲7.0	▲6.9	▲9.3	▲8.8

### 4 新規求職

- 新規求職(原数値)は、2,636人(前年同月比 1.0%増) 2か月ぶりに増加

年 月	R5年7月	8月	9月	10月	11月	12月
前年同月比(%)	5.8	0.5	3.7	7.0	▲3.6	1.0

※令和3年9月以降の数値より、オンライン上で求職登録した求職者が含まれている。